

海外から帰国した学生・教職員の皆さまへ

通告最近回到日本的教职员工・同学们

海外から帰国した場合は、「自己健康管理表」(・・・からダウンロード)に従って、自己管理をお願いします。以下のどの場合であっても、自己健康管理表は、「SARS-CoV-2 感染対策本部事務局 (学生課)」に提出してください。

凡是最近回到日本的教职员工同学，请在(下面下载)「自己健康管理表」参照下列情况，监督记录自己的健康状况，及时把「自己健康管理表」提交到「SARS-CoV-2 感染対策本部事務局 (学生課)」。

感染症危険情報の危険レベルを確認して頂き、レベル2以上の国・地域から帰国した場合は、それぞれの区分に従って対応してください。レベルが設定されていない国や地域から帰国した際は、以下のCに記載の対応をしてください。

首先确认出发、**途经地**的疫情感染危险等级，凡出发、**途经地**达到第2级(包括第2级)以上的国家和地区、要按照下列等级分类采取措施。即使来自未被感染危险评级的地区的人也要按照C情况处理。

A. 感染症危険情報の危険レベル3の国・地域への渡航歴・滞在歴のある者、又は同危険レベル3の国・地域在住の方と接触があった者

A. 对于去过或逗留过疫情感染危险第3级的国家和地区的人，或者与这些国家和地区的人有过接触的人

① 帰国日から2週間以内に37.5度以上の発熱があり、かつ呼吸器症状もある場合には、最寄りの「帰国者・接触者相談センター」に電話連絡して指示を受けてください。医療機関を受診するよう指示を受けた場合は、他の人との接触を避け、マスクを着用するなどし、事前に当該医療機関に連絡した上で速やかに受診してください。医療機関を受診した結果を大学医務室に連絡してください。

① 从回到日本起，两周内持续发热，体温超过37.5℃及有感冒症状的人，请与最近的保健所等的“归国者及接触者咨询中心”（「帰国者・接触者相談センター」）咨询，接受指导。如指示去医疗机构门诊治疗，事先要与推荐的医疗机构预约，并尽量避免与他人接触，做好戴口罩的防御措施再去门诊。并及时把诊断结果报告给大学医务室。

② ①に該当しない場合であっても、帰国後2週間は外出を控え検温等の健康観察をしながら自宅に滞在してください。この間の学校行事(授業等を含む)への欠席の扱いについては、所属学部事務室へ確認してください。

なお、発熱と呼吸器症状が出現した場合は、①の対応をとってください。

② 即使没有①的症状，也要做到自觉在两周内尽量不外出，自查体温。因此产生的课程缺席等情况要及时与所属的学部事务室联系。

B. 感染症危険情報の危険レベル2の国・地域から帰国し、同危険レベル3の国・地域在住の方と接触がない者

B. 对于去过或逗留过疫情感染危险第2级的国家和地区的人，或者与这些国家和地区的人有过接触的人

① 帰国日から2週間以内に37.5度以上の発熱があり、かつ呼吸器症状もある場合には、最寄りの「帰国

者・接触者相談センター」に電話連絡して指示を受けてください。医療機関を受診するよう指示を受けた場合は、他の人との接触を避け、マスクを着用するなどし、事前に当該医療機関に連絡した上で速やかに受診してください。医療機関を受診した結果を大学医務室に連絡してください。

① 从回到日本起，两周内持续发热，体温超过 37.5℃及有感冒症状的人，请与最近的保健所等的“归国者及接触者咨询中心”（「帰国者・接触者相談センター」）咨询，接受指导。如指示去医疗机构门诊治疗，事先要与推荐的医疗机构预约，并尽量避免与他人接触，做好戴口罩的防御措施再去门诊。并及时把诊断结果报告给大学医務室。

② 帰国した時点で発熱や呼吸器症状がない場合でも、帰国後2週間は検温等の健康観察を行ってください。なお、この間に発熱と呼吸器症状が出現した場合は、上記①の対応をとってください。

② 即使回到日本后没有感冒发烧等症状，也要做到自觉在两周内自查体温。另外万一出现症状要及时按①对策采取行动。。

C. 感染症危険情報の危険レベルのない国・地域から帰国した者

C. 对于去过或逗留过未被疫情感染危险评级的国家和地区的人

① 帰国日から2週間以内に37.5度以上の発熱があり、かつ呼吸器症状もある場合には、最寄りの「帰国者・接触者相談センター」に電話連絡して指示を受けてください。医療機関を受診するよう指示を受けた場合は、他の人との接触を避け、マスクを着用するなどし、事前に当該医療機関に連絡した上で速やかに受診してください。医療機関を受診した結果を大学医務室に連絡してください。

① 从回到日本起，两周内持续发热，体温超过 37.5℃及有感冒症状的人，请与最近的保健所等的“归国者及接触者咨询中心”（「帰国者・接触者相談センター」）咨询，接受指导。如指示去医疗机构门诊治疗，事先要与推荐的医疗机构预约，并尽量避免与他人接触，做好戴口罩的防御措施再去门诊。并及时把诊断结果报告给大学医務室。

② 帰国した時点で発熱や呼吸器症状がない場合でも、帰国後2週間は検温等の健康観察を行ってください。なお、この間に発熱と呼吸器症状が出現した場合は、上記①の対応をとってください。

② 即使回到日本后没有感冒发烧等症状，也要做到自觉在两周内自查体温。另外万一出现症状要及时按①对策采取行动。

関係省庁のホームページの情報をもとに情報提供しておりますが、感染者の発生が報告されていない国・地域への渡航歴がない場合でも、感染が確認された場合や、感染の疑いがある方と濃厚な接触があった場合には、速やかに大学医務室に連絡してください。

大学会及时按照日本政府相关部门的网络信息提供信息。即使没有去过疫情感染危险评级地区而患病的人，或者与患者有过密切接触的人，应当及时与大学医務室联系。